

「解釈別表第八に係わる遠隔操作」に関する報告書（見直し案）の構成について

（見直し体系のイメージ）

2019. 9. 26

	「解釈別表第八に係わる遠隔操作」に関する報告書（現行）	遠隔操作に関する報告書等の見直しについての中間報告書	解釈別表第八に係わる遠隔操作に関する報告書（見直し案）	備考
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンによる操作 ・見えない位置 ・エアコンが主対象 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン、スマートスピーカ、専用リモコン等による操作 ・見える位置及び見えない位置 ・電気製品及び配線器具 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン、スマートスピーカ、専用リモコン等による操作 ・見える位置及び見えない位置 ・電気製品 	配線器具については別途検討
構成	1. はじめに 2. 報告の内容 3. 検討の進め方 4. 安全確保のための要求 5. 終わりに	1. はじめに 2. 遠隔操作に関する技術基準省令上の規定 3. 遠隔操作等に関する技術基準の解釈 4. 用語の定義 5. 通信回線に関する解釈の解説 6. 遠隔操作等に関する解釈の適用範囲 7. その他、参考文献 8. 附表 国際規格との比較	1. はじめに	中間報告書の 1. に同じ
			2. 適用範囲	別表第八に限定
			3. 遠隔操作に関する技術基準省令上の規定	中間報告書の 2. に同じ
			4. 遠隔操作等に関する技術基準の解釈	中間報告書の 3. に同じ
			5. 用語の定義	中間報告書の 4. にほぼ同じ。「操作コントローラー」の明確化
			6. 遠隔操作等に関する解釈の適用範囲	中間報告書の 5. に同じ
			7. 通信回線を利用した遠隔操作機構に対する安全確保のための要求	現行の 4. に中間報告書の 5. を合体。リスクアセスメントを最新のガイド 51 に合わせて修正等
			8. その他、参考文献	中間報告書の 7. に同じ
			9. おわりに	現行の 5. を一部修正
			附表 国際規格との比較	中間報告書の 8. に同じ

注 見直し案では、網掛け部分がなくなってしまうため、見直し前のものも履歴として残す。

解釈別表第四 遠隔操作に関する報告書(見直し案)の構成について

2019 年 10 月 10 日
(一社) 日本配線システム工業会

現在公開されている解釈別表第四に係わる報告書及び試験方法(下記①～④の報告書等)と、対象とする主な電気用品は次のとおりです。

公開されている報告書及び試験方法	対象とする主な電気用品
①「遠隔操作に関する報告書等の見直しについて中間報告書」(2018)	電気用品全般
②「解釈別表第四に係わる遠隔操作」に関する報告書(H26)	点滅器
③「固定配線用の点滅器及び調光器の遠隔操作」に関する試験方法(H26)	点滅器及び調光器
④「解釈別表第四に係わる遠隔操作」に関する報告書の追加検討報告書(H28)	接続器

今回の解釈別表第四に係わる遠隔操作に関する報告書(見直し案)は、上記①～④の報告書等をひとつにまとめます。

今回の報告書(見直し案)	対象とする主な電気用品
「解釈別表第四に係わる遠隔操作」に関する報告書(点滅器・接続器・調光器の試験方法を含む)	点滅器、接続器及び調光器

報告書(見直し案)の項目と、基にする報告書等の関係は次のようになります。

	項目	基にする報告書等
構成	1. はじめに	①による
	2. 適用範囲	今回追加
	3. 遠隔操作に関する技術基準省令上の規定	①による
	4. 遠隔操作等に関する技術基準の解釈	①による
	5. 用語の定義	①による
	6. 遠隔操作等に関する解釈の適用範囲	①による
	7. 通信回線を利用した遠隔操作機構に対する安全確保のための要求	①、②、④による
	8. 通信回線を利用した遠隔操作機構を有する配線器具に適用する試験方法	③、及び接続器の試験方法を④を基にして今回追加
	9. その他、参考情報	①による
	10. おわりに	今回追加
	別紙:遠隔操作機能を有する接続器の表示例	④による
	付録:負荷機器の検討結果	②、④による

また、第 105 回電気用品調査委員会(2019 年 7 月 5 日)にて途中報告のあった次の報告書等の見直し案を参照しています。(例えば、遠隔操作可否判断の判定方法など)

- －「解釈別表第八に係わる遠隔操作に関する報告書(見直し案)」
- －「AV 機器の遠隔操作機構に関する試験方法(見直し案)」

以上